



ハゼの古木の前で「はい、チーズ!」(安川保育所)

地域の人々の支えて
毎年きれいに咲いています



園田橋付近の菖蒲園



カシカガエル

アガサ(あかきぼうぎゅう)

夏には多くの人が訪れる大園橋の下

川は、農産用水や飲料として水を利用するだけでなく、人の安らぎの場として、いろいろな形で展開をしています。

小石原川の安川付近では、両岸にハゼの木が植えられ、秋には、ハゼ独特の微妙で多様な赤い葉が、みんなを染まらせてくれます。かつて朝倉はハゼロウの生産地でも有名でした。その名残として、川岸に点々と存在するハゼの古木が物語っています。安川地区では、秋の安川の里として、夕日とともに、山や川岸が赤で染まるように、イメーンを思い巡らせ、両岸にハゼの木を植え足しました。最近では、良質な口吻がとれた松山産を増やすための試みもおこなわれています。

園田橋付近では、河川敷に地域の人の手によって植えられた菖蒲園があります。花のある里の川の風景として立ちどまり、写真や絵に収めたくもポイントです。

気温が上がり暖かくなると、大園橋あたりのせせらぎでは、親子つれがスポンをまくり上げて、魚を捕ったり、水に泳がせたりしているのをよく見かけます。清流の涼を肌で感じています。市内から訪れていた佐竹春乃ちゃん(6歳)は「水がきれい。魚がとれて楽しい」と話していました。

小石原川の上流へ行けば、絶滅危惧種のアカザがあります。川がやがやがの場として感じられるのは、その川を通って、地域の人々の「ふるさとの川を守りたい。きれいな川として次代につぎたい」という熱い思いにふれるからなのかもしれません。

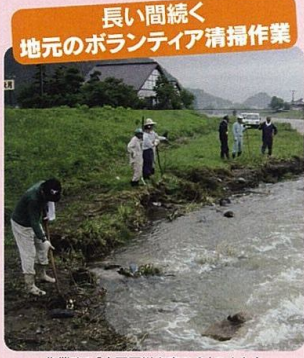
それぞれの地域には、それぞれの身近な川があります。川がやがやの場、憩いの場として感じられるのは、その川を通して、地域の人々の「ふるさとの川を守りたい。きれいな川として次代につぎたい」という熱い思いにふれるからなのかもしれません。

よみがえる清流 小石原川



石碑には「献上品につき、川に入って、川草や魚を捕ってはならない」という意味の言葉が書かれています。

昔はこの川でもスイゼンジノリがとれていたよ



長い間続く
地元のボランティア清掃作業

作業する「小石原川を守る会」の人たち

環境保全活動紹介

杷木小学校 受け継ごう米山織

シリーズ 第8回

米山織は江戸時代から始まった伝統工芸です。杷木小学校では5年生が、総合的な学習の時間に米山染工場の榎原康嗣さんに教わりながら織を作っています。下絵づくり、染め付け、糊落としという工程があります。織には図柄として「杷木の名物」、言葉として「6年生になって頑張るめあて」を入れています。

できあがった織は、6年生になって毎朝学校の玄関前に立っています。神坂菜々子さん(6年生)は「染め付けの微妙な色の違いを出すのがむずかしかったが、みんなで協力して作れてよかった。」古川寛人くん(6年生)は「めあてを書いた織をたてることで、みんながめあてを意識した行動をしてくれていると思う」と話していました。

平成24年度は、7月上旬から25名の5年生がグループに分かれて織作成を行います。今から楽しみです。

ホタルの幼虫放流会

inプリチストン

平成24年3月5日、プリチストン 甘木工場内のピオトープに、近くの福田保育所の年長児10名が、ゲンジボタルの幼虫を放流しました。ピオトープとは生物が生きていける空間、つまりホタルが住める環境という意味のドイツ語です。ホタルやそのえさとなるカワナガが生ずるには、生態系の保たれた水が必要だという説明がありました。

放流会に参加した山見優太くんは「幼虫がホタルになるのが楽しみ」、和佐野輝希くんは「川を汚さないようにしたい」と目を輝かせて話していました。

朝倉市内には、ほかにも自然のホタルが乱舞する場所が数多くあり、今年もたくさんの方々の目を楽しませました。

毎月第2週は
きらきら美花美化週間

きららちゃん

掲示期間 平成24年7月1日～10月31日まで

自然のカーテンをつくろう

グリーンカーテンの写真を募集します

グリーンカーテンとは、ツルが巻きついて伸びる植物を窓際に生育させることで建物の日差しを防ぐとともに、節電とCO₂削減を進めるための、自然のカーテンです。朝倉市環境アクション協議会では、みなさまが家庭や会社で育てたグリーンカーテンの写真を募集します。採用された写真は、市報「かへ新聞」環境、ホームページ等で紹介いたします。興味のある方はふるって応募ください。(市外の方も応募可)

- 必要事項
 - ①氏名、②住所、③電話番号、④撮影日
 - ⑤グリーンカーテンの写真、⑥コメント(50字以内)
- 募集期間 平成24年7月1日～平成24年9月10日(必着)
- 送付先 住所:〒838-0062 朝倉市堤4-6 朝倉市役所 環境課環境係 Email: kankyoc@city.asakura.lg.jp
- その他
 - 提出は、メール及び郵送可。郵送の場合は、写真の返却はいたしません。
 - 1回の応募につき1作品の応募になります。
 - 主催 朝倉市環境アクション協議会
 - 詳しくは、市環境課 ☎0946-23-1153